



「子育て支援に関する講座【南信：中川村】」 兼 分館役職員・青少年健全育成合同研修会

中川村の公民館関係者と青少年健全育成の関係者の合同研修会において、子どもとメディア信州代表の松島恒志先生をお迎えして、ネット社会にひそむ問題とその対処の仕方についてご講義いただきました。

松島先生からは電子メディアの問題点や親や教職員、地域でできることについて分かりやすく熱心にお話しくださり、過剰なメディア接触の子どもの心身への影響や親と子どものつながりについて、考えを巡らせる機会となりました。

受講者一人一人が改めて自分事として子どもとネットについて考え、改めて子どもとともに時間を過ごすことやコミュニケーションをとることの大切さに気付くことができました。

受講者：82名

<研修内容>

【講演】「親はどうすればよいのでしょうか～子どもがスマホやゲーム機を持ちたいとき～」

講師 子どもとメディア信州 代表

佐久市立野沢中学校 校長 松島 恒志 氏



<受講者アンケートから>

- 良い話でした。家庭、会社で活用できそうです。（公民館職員）
- スマホやゲーム…このままではいけないと思っていたけれど、こういう時代だからどうしていいのかわからないと思っていました。お話を聞いて少し勇気が持てました。何かしよう何かできるという勇気が持てました。（公民館職員）
- とても大事なことを教えて頂きました。ありがとうございました。人の子として親として大切なことを引き継ぎ、大事に育てていきたいと思いました。（PTA）
- 小中学生の現状（村内・県内）の事柄がよくわかった。特に村内の小中のことは、今の子どもたちのことなので大変勉強になりました。（学校教職員）
- 考えさせられました。（PTA）
- 最後は泣けてしまった。自分に置き換えて考えられた。（PTA）
- 私の子ども（長男）ゲームが大好きです。やる事（勉強、宿題、塾の課題）が終われば2～3時間はゲームします。それでもコントロールをしながらゲームをやっています。今、6年生なので将来の夢の事もよく話します。コミュニケーションがとても大事だと思いました。SNSの付き合い方もとても大事です。とてもいい話でした。（PTA）